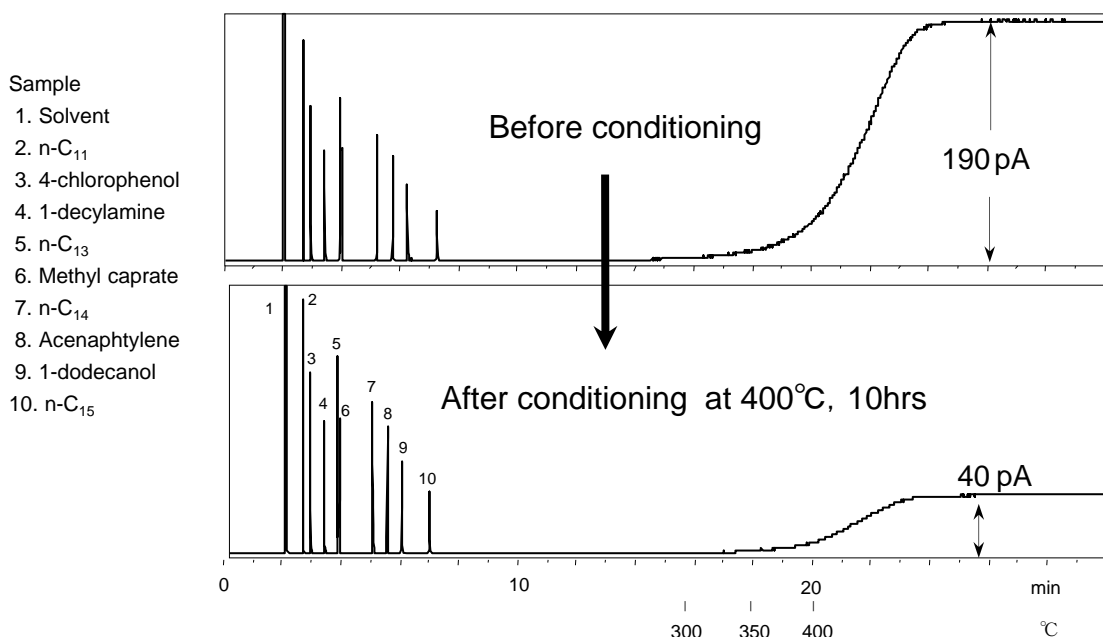


Ultra ALLOY®金属キャピラリーカラムの 耐熱性(ブリード)について

Ultra ALLOY®金属キャピラリーカラムは、Fused silica (FS)キャピラリーカラムと比較し、内表面の構造とその組成の違い (Technical Note UAT-002を参照)に加え、固定相塗布後の高温処理により、不活性で耐熱性に優れた特長を有しています。このUltra ALLOY®金属キャピラリーカラムは、素材の耐熱性と弊社独自の技術により、下図に示すように、400°C、10時間のエージングを経た後に検査を行ない、極めてブリードの低いキャピラリーカラムのみを出荷しています。(FSキャピラリーカラムは、320°C以上の高温では、外壁のポリイミドが熱劣化して折れ易くなり、使用中でのおもわぬ破損等の問題があります。)

また、この低いブリード特性は、高温領域での分析はもとより、高温での使用を前提としない温度においても低いブリーディングによる高感度分析と長寿命の利点となります。



測定条件 分離カラム ; Ultra ALLOY+-1 (ジメチルポリシロキサン), 長さ 30m 内径 0.25mm 膜厚 0.15µm
GCオープン温度 ; 145(8min) → 20°C/min → 400°C, キャリヤガス ; He 150kpa
注入口 ; Split 1/50 at 300°C, Split vent ; 60ml/min, 検出器 ; FID at 400°C

Keywords : 耐熱性, ブリード, FSカラムとの違い

使用製品 : 多機能パイロライザー, UA-1

応用分野 : 一般分析, 高温分析

関連テクニカルノート :

お問い合わせは、FAXまたはウェブサイトの問い合わせフォームをご利用ください。

研究開発・製造 **フロンティア・ラボ株式会社**
Tel: 024-935-5100 Fax: 024-935-5102
<http://www.frontier-lab.com/>